

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	知的財産権
科目基礎情報						
科目番号	0025		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質工学科（生物工学コース）		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	独占禁止法ガイドブック・必要に応じて資料を配布					
担当教員	後藤 多栄子					
到達目標						
知的財産権の基礎的法体系の修得と事例をまなぶ。特許アイデア創出や出願明細書作成に必要な基本技術を学ぶ。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	知財の基礎を理解して説明することができる。		知財の基礎をおおむね理解して説明することができる。		知財の基礎の理解ができない。また説明ができない。	
評価項目2	知財の事例を理解して説明することができる。		知財の事例をおおむね理解して説明することができる。		知財の事例を理解できないし、説明できない。	
評価項目3	知財のアイデアを考えだし、具現化できる。		知財のアイデアをそれなりに考えて、おおむね具現化できる。		知財のアイデアを考えだせないし、具現化できない。	
評価項目4	特許庁への出願明細書作成ができる。		特許庁への出願明細書作成がおおむねできる。		特許庁への出願明細書作成ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
A						
教育方法等						
概要	知財全般の基礎知識を習得することを目的に、独占禁止法を中心に知的財産権のさまざまな事例をとおして、知的財産権の企業戦略を学ぶ。知財全般の知識を深め、特許出願に必要な実践的知識や技術を指導する。					
授業の進め方・方法	独占禁止法を中心に知的財産権のさまざまな事例をとおして、知的財産権の企業戦略を学ぶ。知財全般の知識を深め、特許出願に必要な実践的知識や技術を指導する。時には外部講師(弁理士など)によるセミナー(アイデア創出・PBL)をとおして学生が学ぶ機会がある。					
注意点	COC科目である。2・3回にわたり、和歌山に関する知的財産の具体例を使って知財を学ぶ。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	概要説明 市場と競争		市場における競争の役割を理解できる。	
		2週	不正行為と企業倫理		企業の倫理について理解できる。民法の不正行為のみならず他の法律による規制を理解できる。	
		3週	不正競争防止法		不正競争防止法が規制する行為を分類別に理解できる。ノウハウに関する規制を理解し説明ができる。	
		4週	経済憲法としての独占禁止法		競争と独占禁止法とかわかりが理解できる。	
		5週	独禁法が規制する3条前段の私的独占		私的独占の事例を理解でき、事例を説明できる。	
		6週	3条後段のカルテルや談合		3条後段のカルテルや談合の事例を理解でき、事例を使って説明ができる。	
		7週	独禁法が規制する19条の不正な取引方法 *地（知）の拠点*和歌山県に関する事例研究		独禁法が規制する19条の不正な取引方法の事例を理解できる。*和歌山県に関する事例研究を行い、論点を理解する。	
		8週	独禁法の適用除外となっている知的財産に関する21条		独禁法の適用除外となっている知的財産に関する21条を理解できる。	
	2ndQ	9週	商標法・地域団体商標 *地（知）の拠点*		商標法体系を理解できる。*地（知）の拠点* 地域団体商標の制度理解して和歌山県における事例を調査・加えて和歌山県の企業の商標の調査して、課題提出する。	
		10週	意匠法 *地（知）の拠点*		*地（知）の拠点*意匠法体系を理解できる。和歌山の企業の意匠を調査し課題提出する。	
		11週	特許法 *地（知）の拠点*パテント検索そして明細書の書き方		*地（知）の拠点*特許法基礎を理解できる。和歌山県関連や本校の教員の所有する特許検索をJ-Plat-Pat(特許庁のデータベース)を利用して調査し課題を提出する。明細書の書き方を学び書けるようになる。	
		12週	発明アイデアの創出方法（ブレインストーミングなど）		発明アイデアの創出方法を使用してアイデアを創出できる。	
		13週	著作権法		著作権体系を理解できる。著作物の理解、著作権者の理解ができ、実例で説明できる。	
		14週	著作権法		著作権体系を理解できる。著作権者が持つ著作権の種類を理解し、その説明ができる。また、適用除外を理解し、説明ができる。	
		15週	期末試験		期末試験	
		16週	試験返却・解説		試験返却・解説	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。		3	

分野横断的 能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならぬことを知っている。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
評価割合						
		試験		課題ほか	合計	
総合評価割合		50		50	100	
評価		50		50	100	